



# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市大畑町 大西大池災害復旧工事(5132)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・土木工事共通仕様書（令和2年8月）広島版
  - ・農業土木共通仕様書（平成29年6月）広島県※ 土木工事共通仕様書，農林土木共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
  - ・その他関連規格類

### 第2節 現場代理人の常駐義務の緩和

監督員等と携帯電話等で常に連絡がとれることに加え，次に掲げるいずれかの事由に該当する場合には，建設工事請負契約約款第10条第3項に規定する「現場代理人の工事現場における運営，取締り及び権限の行使に支障がなく，かつ，発注者との連絡体制が確保されると認めた場合」として取扱う。

- (1) 請負代金額が3,500万円（建築一式工事にあつては，7,000万円）未満
- (2) 契約締結後，現場事務所の設置，資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
- (3) 建設工事請負契約約款第20条第1項又は第2項の規定により，工事の全部の施工を一時中止している期間
- (4) 橋梁，ポンプ，ゲート，エレベーター等の工場製作を含む工事であつて，工場製作のみが行われている期間
- (5) 前3号に掲げる期間のほか，工事現場において作業等が行われていない期間
- (6) その他，特に発注者が認めた期間

### 第3節 現場代理人等の兼務

受注者は，三原市が定める「現場代理人及び主任技術者の制度の変更について（令和2年1月6日）」により，現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/uploaded/attachment/67063.pdf>

### 第4節 情報共有システム

- 1 本工事は，受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより，業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお，運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。  
広島県工事中情報共有システム  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は，受注者が行い，利用料を支払うものとする。
- 4 なお，工事完成時については，提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また，試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから，受注者は工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は，監督員及びサービス提供者から技術上の問題点を把握，利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合，協力しなければならない。

## 第2章 施工条件

### 第1節 用地

現場の復旧  
原形復旧とする。

### 第2節 建設副産物

#### 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地、又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地、又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地、又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

#### 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

#### 3 産業廃棄物（搬出）

受注者は、流木等を現場外搬出する場合は、産業廃棄物処理計画書を提出し監督員の承諾を得た後に処理しなければならない。

産業廃棄物処理計画書には、次の関係書類を添付しなければならない。

産業廃棄物処理委託契約書（写）

処理業者の許可証（写）

積込・保管施設、中間処理施設、最終処分場までの運搬経路地図及び写真

受注者は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に処理されていることを確認するとともに、産業廃棄物処理状況のわかる写真とともに、施工管理資料として提出しなければならない。

また、受注者は平均的な大きさの流木の直径、長さを撮影し、施工管理資料として提出しなければならない。

### 第3節 その他

#### 1 工所用機資材の仮置き

受注者が責任を持って確保すること。

#### 2 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要にする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

#### 3 法定外の労災保険の付保

(1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。

(2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるものを速やかに監督員に提示しなければならない。

- (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

### 第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	備考
本工事費					
災害復旧工事(堤体)		式		1	レベル1
土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
土砂掘削(表土剥取)	土砂	m <sup>3</sup>		6	レベル4
土砂掘削(堤体掘削)	土砂	m <sup>3</sup>		22	レベル4
盛土工		m <sup>3</sup>		68	レベル3
盛土(堤体)	土砂	式		1	レベル4
盛土(取付)	土砂	式		1	レベル4
整形仕上げ工		式		1	レベル3
法面整形(堤体)	レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	m <sup>2</sup>		44	レベル4
法面整形(取付)	レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	m <sup>2</sup>		47	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
残土処理		式		1	レベル4
法面工		式		1	レベル2
植生工		式		1	レベル3
張芝工(堤体)	人工芝	m <sup>2</sup>		25	レベル4
張芝工(取付)	人工芝	m <sup>2</sup>		47	レベル4

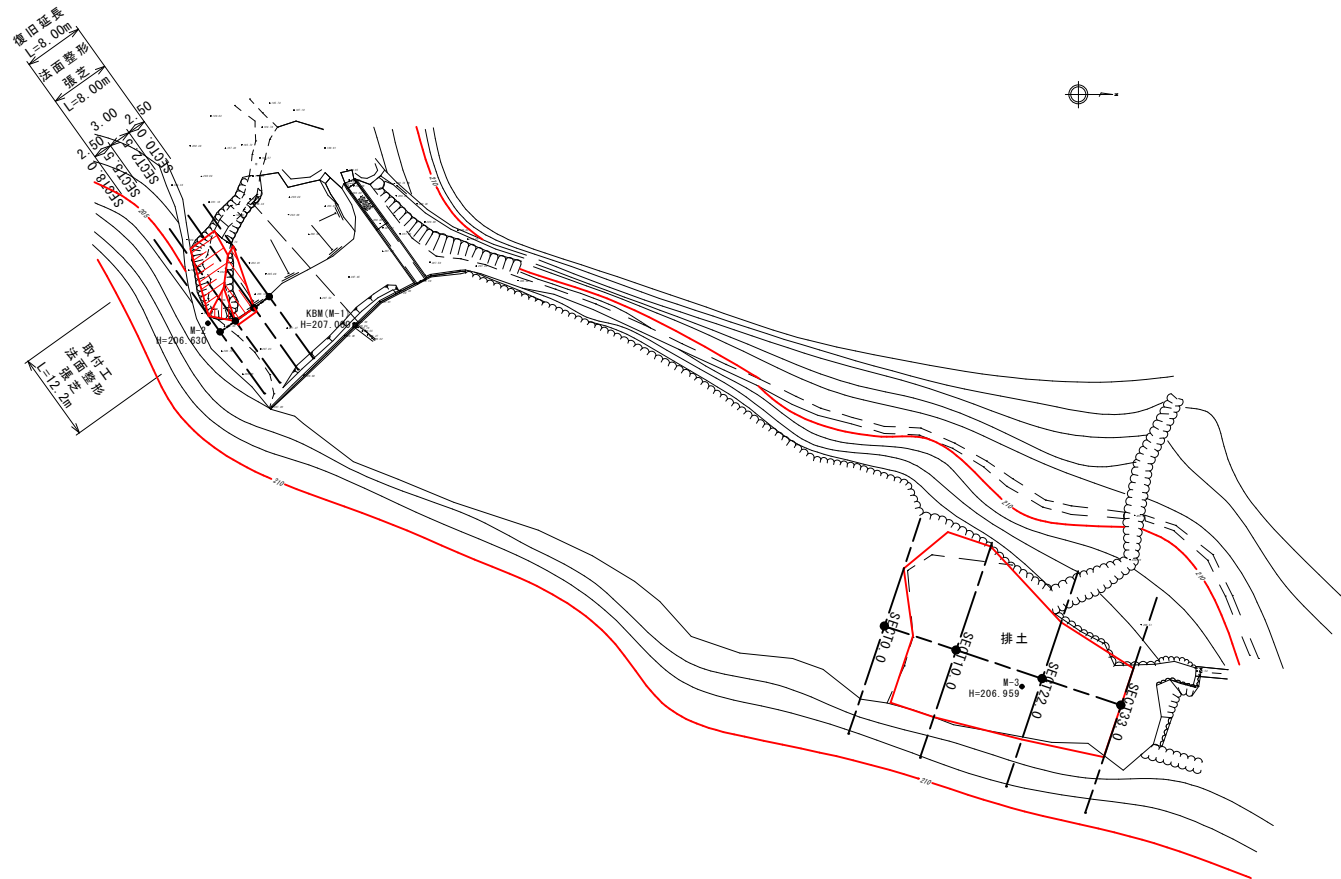
# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
災害復旧工事(排土)		式		1	レベル1
排土		式		1	レベル2
排土		式		1	レベル3
排土		m3		552	レベル4
排土運搬		m3		552	レベル4
仮設工		式		1	レベル1
仮設工		式		1	レベル2
工所用道路工		式		1	レベル3
直接工事費					
共通仮設費率分額					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
<b>**工事価格計**</b>					



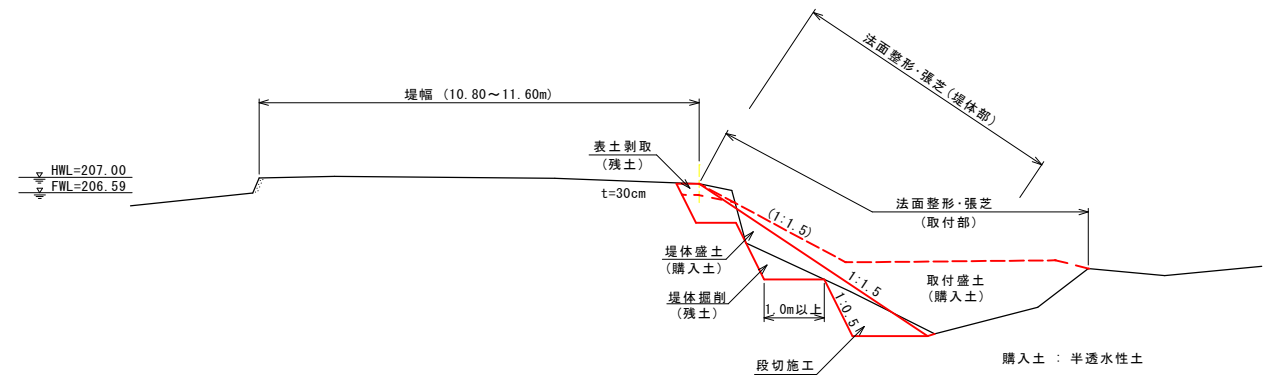
平面図

縮尺 1:500



標準断面図

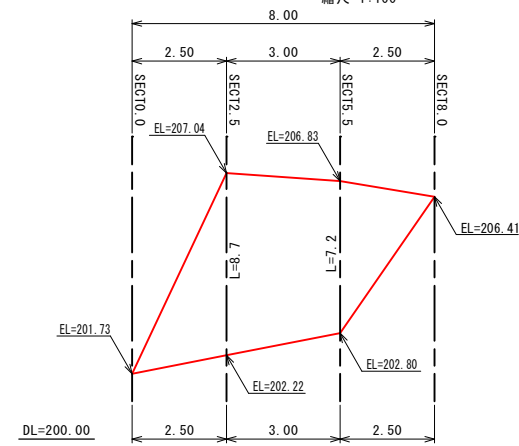
縮尺 1:100



DL=200.00

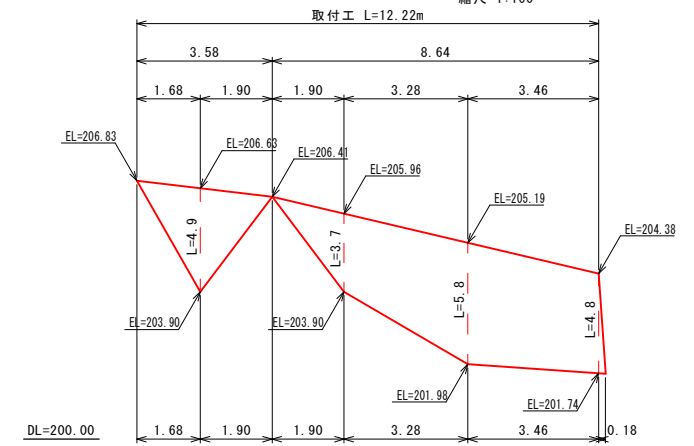
堤体 法面整形 展開図

縮尺 1:100



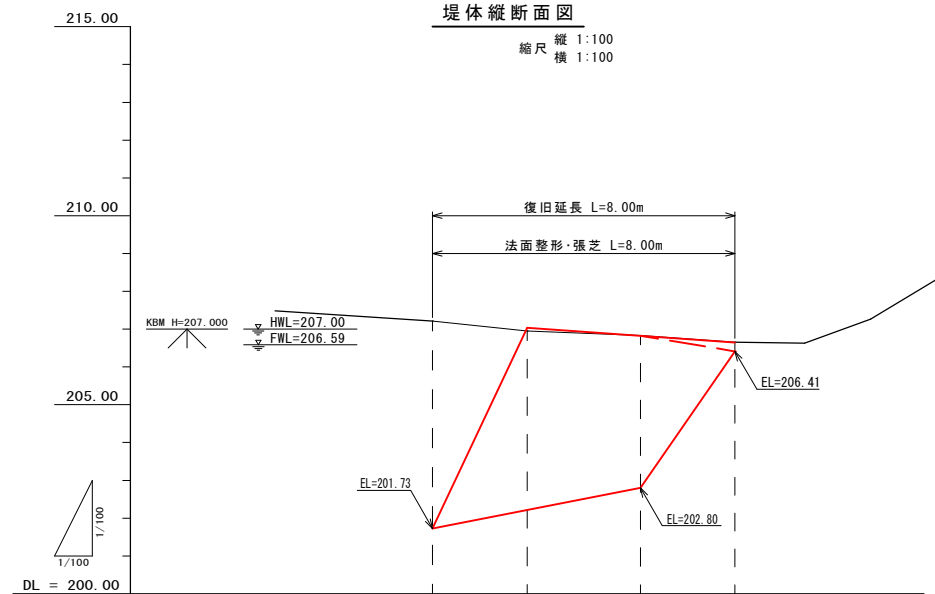
取付工 法面整形・張芝 展開図

縮尺 1:100



堤体縦断面図

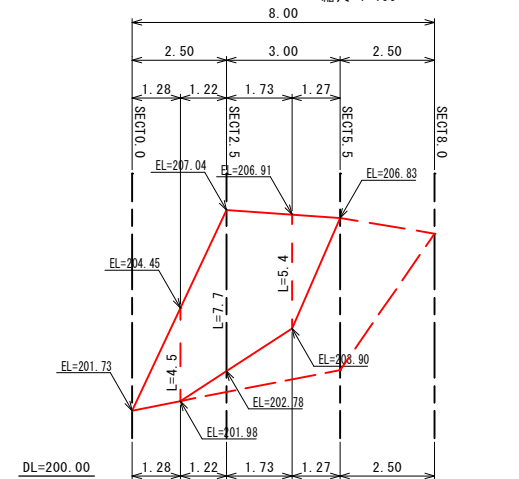
縮尺 縦 1:100  
横 1:100



DL = 200.00	計画標高	207.21	207.04	206.83	206.65
	地盤標高	207.21	206.95	206.83	206.65
	追加距離	0.00	2.50	5.50	8.00
	点間距離	0.00	2.50	3.00	2.50
	測点	SECT0.0	SECT2.5	SECT5.5	SECT8.0

堤体張芝 展開図

縮尺 1:100



この図面は実際の図面を約50%に縮尺している。

5132  
204

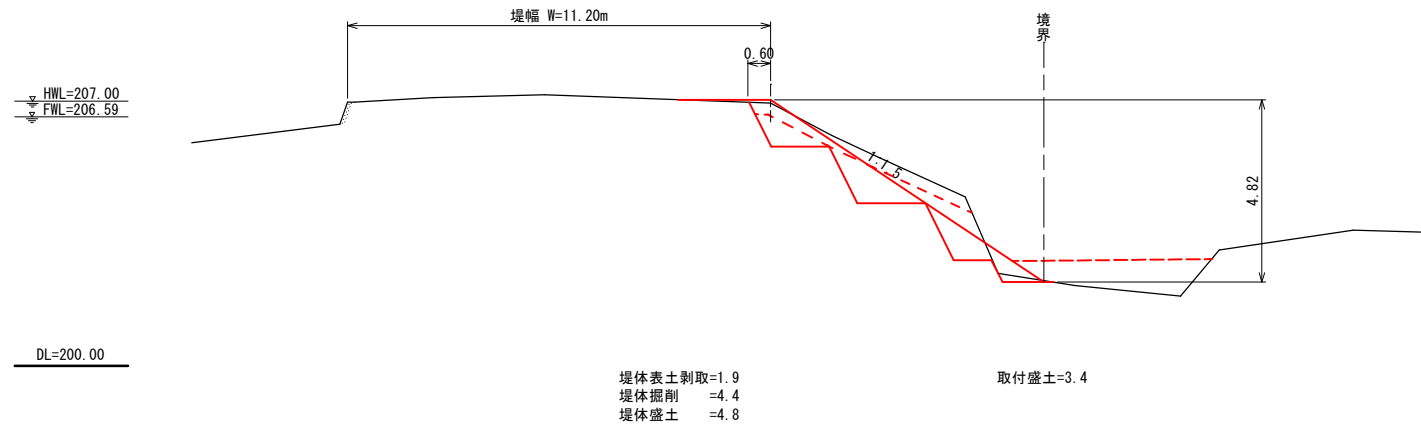
小運搬 あり	
図面の名称	図面番号
平成30年7月5日~7日発生 平成30年7月豪雨災害 三原市 大西大池(ため池)	1 4
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	



堤体横断面図  
縮尺 1:100

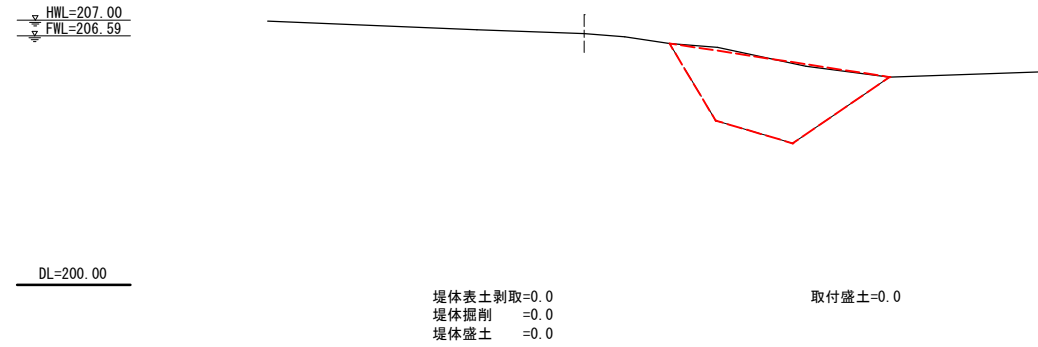
**ASECT2.5**

GH= 206.95  
FH= 207.04



**ASECT8.0**

GH= 206.65  
FH= 206.65



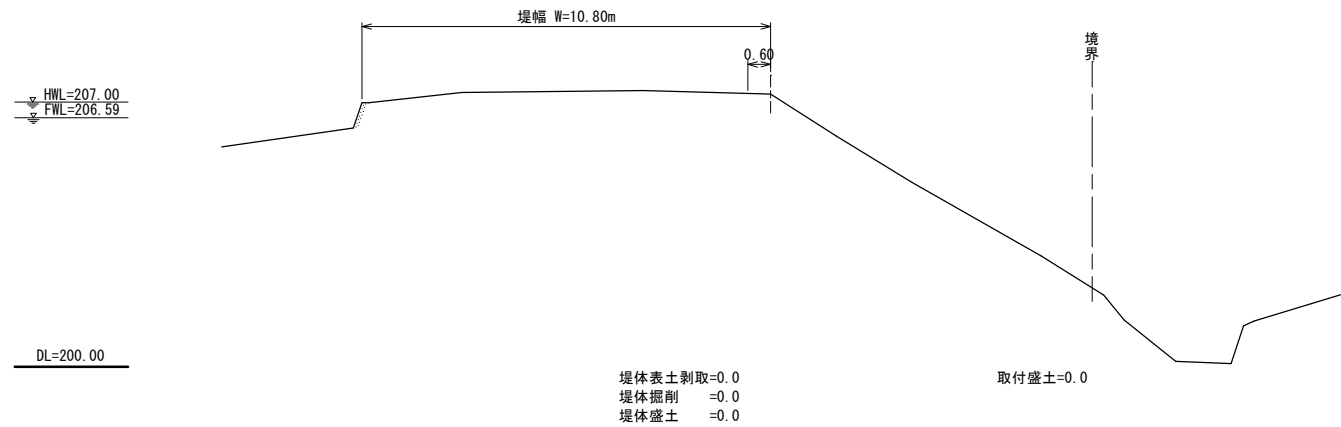
D=0.8

取付盛土=7.9

D=1.7

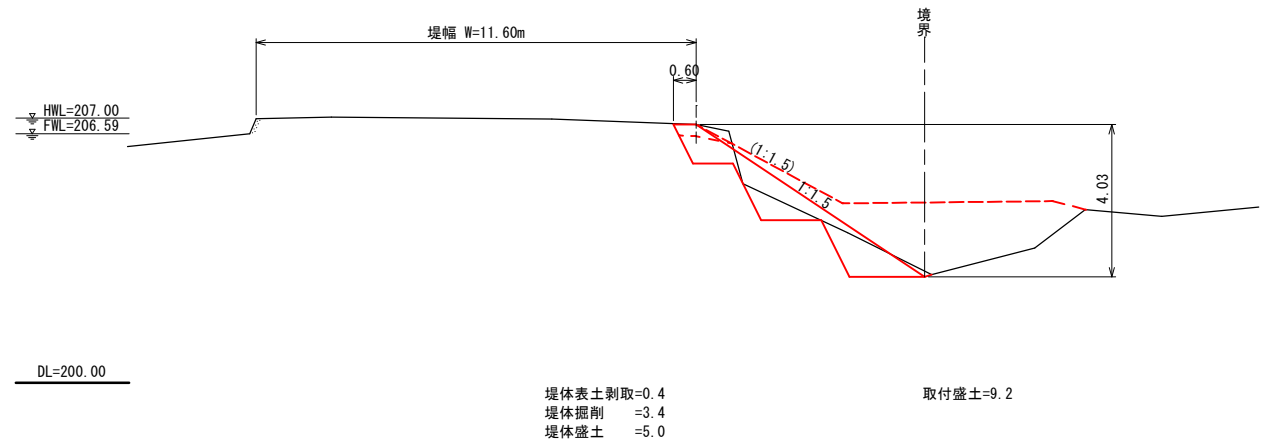
**ASECT0.0**

GH= 207.21  
FH= 207.21



**ASECT5.5**

GH= 206.83  
FH= 206.83



5132  
204

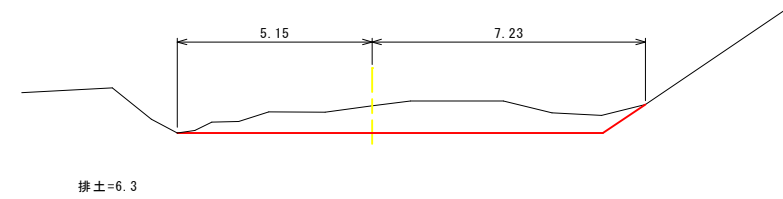
小運搬 あり	
図面の名称	図面番号
平成30年7月5日~7日発生 平成30年7月豪雨災害 三原市 大西大池(ため池)	2 4
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製図	
図複写	

この図面は実際の図面を約50%に縮尺している。

排土横断面図  
縮尺 1:100

SECT33.0

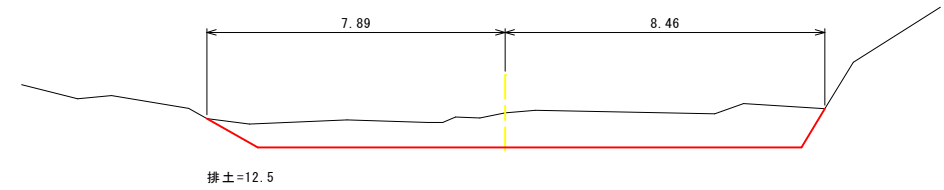
GH= 207.31  
FH= 206.59



DL=205.00

SECT22.0

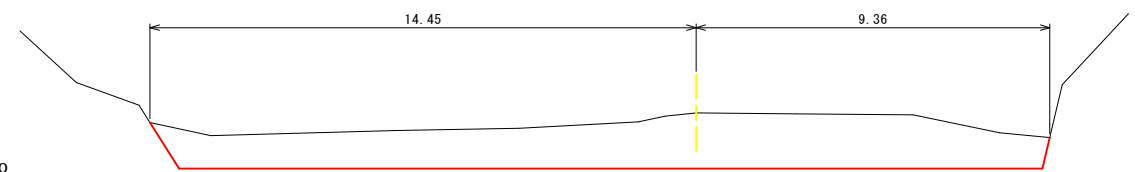
GH= 206.87  
FH= 205.96



DL=205.00

SECT10.0

GH= 206.75  
FH= 205.27



DL=205.00

排土=26.7

↑  
D=6.0

排土=26.7

↑  
D=4.0

SECT0.0

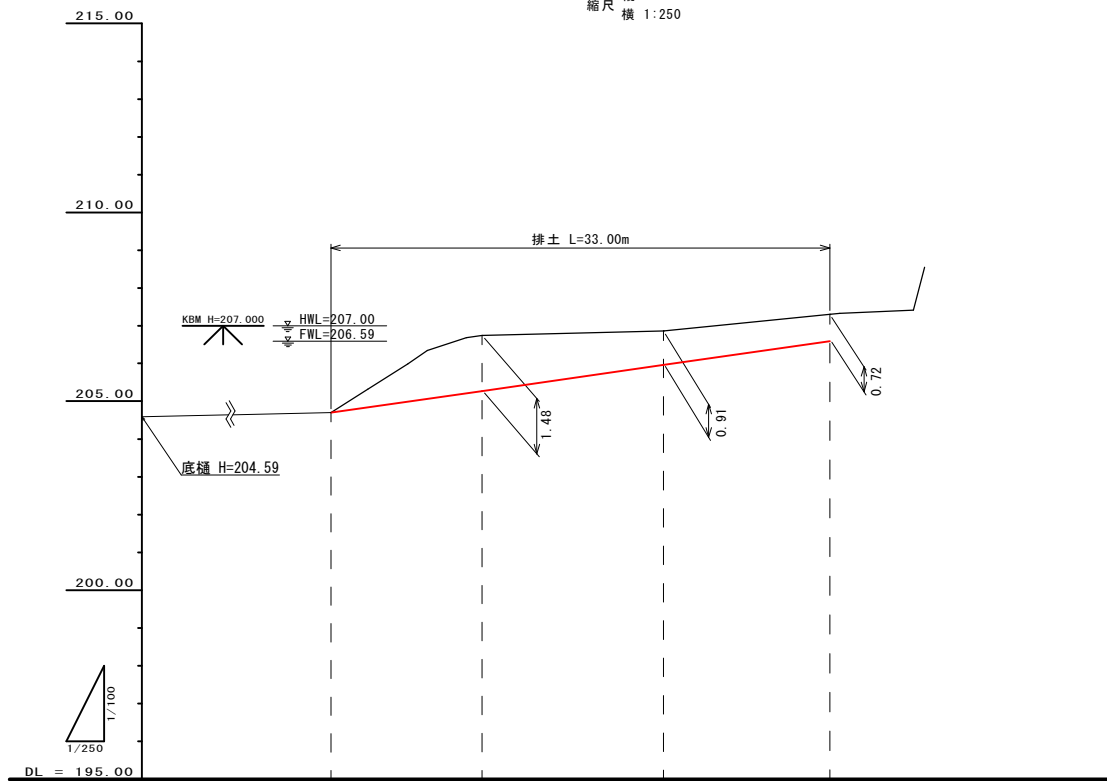
GH= 204.70  
FH= 204.70

DL=205.00

排土=0.0

排土縦断面図

縮尺 縦 1:100  
横 1:250



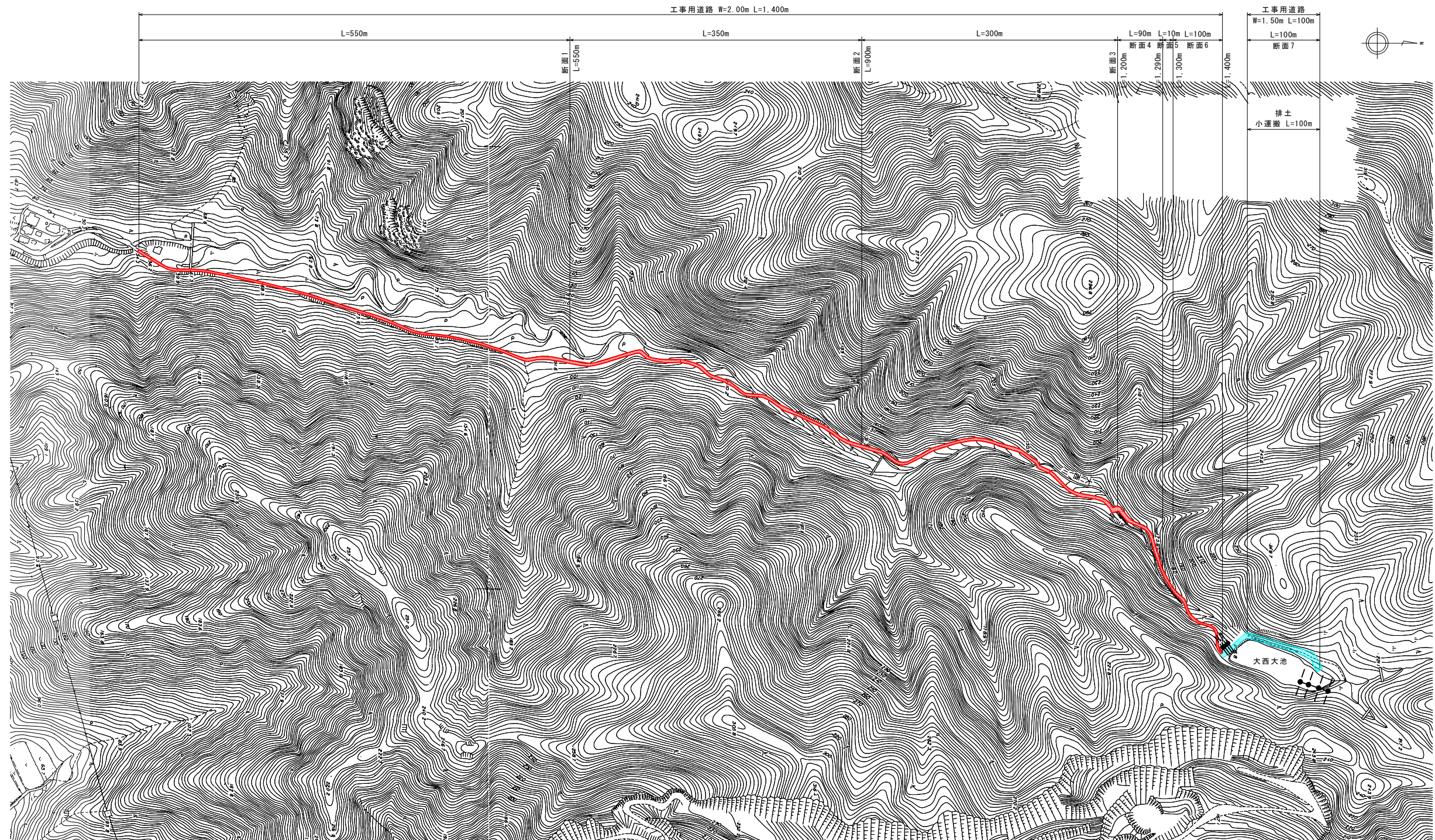
計画標高				
地盤標高				
追加距離				
点間距離				
測点				

小運搬 あり	
図面の名称	図面番号
平成30年7月5日~7日発生 平成30年7月豪雨災害 三原市 大西大池(ため池)	3 4
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	

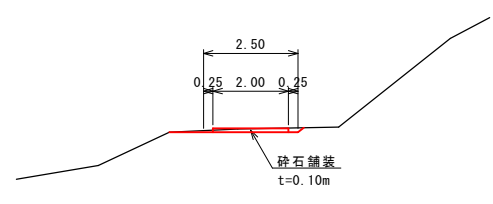
この図面は実際の図面を約50%に縮尺している。



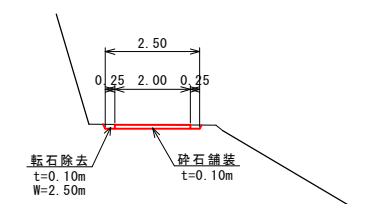
仮設道路平面図  
縮尺 1:2500



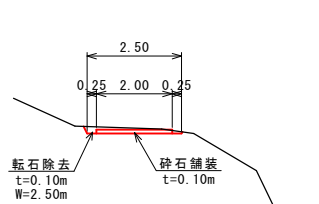
断面 1



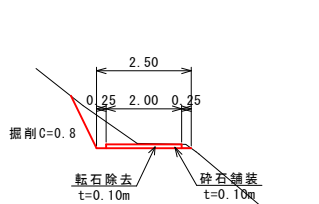
断面 2



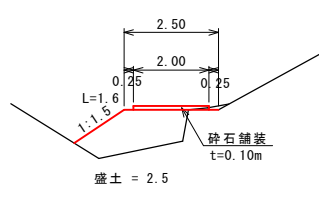
断面 3



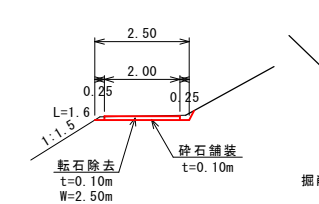
断面 4



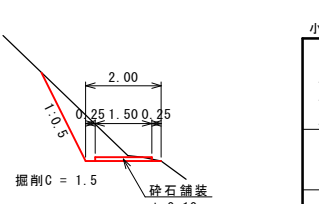
断面 5



断面 6



断面 7



小運搬 あり	
図面の名称	図面番号
平成30年7月5日~7日発生 平成30年7月豪雨災害 三原市 大西大池(ため池)	4 4
測量	平成 年 月 日終了
設計	
製原図	
図複写	

この図面は実際の図面を約50%に縮尺している。



# 参考資料

( 大西大池災害復旧工事(5132) )

# 総括情報表

ファイル名	5132大西大池【第2回変更】	
変更回数	0	
適用単価地区	59 三原市	
単価適用日	00-02.08.01(0)	
諸経費体系	9 公共(011015~)	
	当世代	前世代
諸経費工種	15 その他土木工事(2)	
工事費端数区分	01 千円未満切捨	
週休補正区分	00 補正なし	
施工地域・工事場所区分	05 中山間地域	
契約保証費区分	01 金銭的保証(0.04%)	
前払支出割合区分	00 補正なし	
軽油区分	00 一般軽油使用	
復興補正区分	00 補正なし	
I C T補正区分	00 補正なし	

# 本工事費

# 内訳表

本工事費	費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	災害復旧工事（堤体）					レベル1
	土工	1	式			レベル2
	掘削工	1	式			レベル3
	土砂掘削（表土剥取）	1	式			レベル4
	土砂	6	m3			
	掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	6	m3			00 単第 0 -0001号表
	土砂掘削（堤体掘削）					レベル4
	土砂	22	m3			
	掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	22	m3			00 単第 0 -0001号表
	盛土工					レベル3
		1	式			







# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
植生工									レベル3	
張芝工（堤体） 人工芝	1			式					レベル4	
張芝工 全面張 人工芝（幅 100cm程度）	25			m <sup>2</sup>					00	
張芝工（取付） 人工芝	25			m <sup>2</sup>					単第 0 -0012号表	レベル4
張芝工 全面張 人工芝（幅 100cm程度）	47			m <sup>2</sup>					00	
災害復旧工事（排土）	47			m <sup>2</sup>					単第 0 -0012号表	レベル1
排土	1			式					レベル2	
排土	1			式					レベル3	
排土	1			式					レベル4	
	552			m <sup>3</sup>						



# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
工事用道路工									レベル3	
	1			式						
土砂掘削 土砂									レベル4	
	456			m3						
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外									00	
	222			m3					単第 0 -0001号表	
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)									00	
	234			m3					単第 0 -0003号表	
盛土 土砂									レベル4	
	25			m3						
機械併用盛土(小規模土工)									00	
	25			m3					単第 0 -0007号表	
残土処理									レベル4	
	428			m3						
機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石 30~50m									00	
	150			m3					単第 0 -0015号表	
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)									00	
	150			m3					単第 0 -0003号表	

# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離9.0km以下(7.0km超)	428	m3			00 単第 0 -0011号表
処分費対象額調整(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる					
建設発生土受入費 土砂	428	m3			00
砂利舗装	2,950	m2			レベル4
砂利舗装工 敷均し幅2.5m以上 バックホウ敷均し 敷均し	2,800	m2			00 単第 0 -0016号表
砂利舗装工 敷均し幅2.0m未満 人力敷均し 敷均し	150	m2			00 単第 0 -0018号表
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準以外)	15	m3			00 単第 0 -0003号表
機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石 30~50m	15	m3			00 単第 0 -0015号表
直接工事費					

# 本工事費

# 内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費率 分類						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率 分						
契約保証費						
一般管理費計						
**工事価格計**						



# 施工単価表

掘削

SPK19040001

単第 0 -0001号表

土砂 上記以外(小規模)

標準以外

1

m3 当り

機械構成比: 24.57% 労務構成比:

67.61%

材料構成比: 7.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,249.8000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	24.57%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	67.61%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 F=8 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		





# 施工単価表

積込(ルーズ)

SPK19040007

単第 0 -0003号表

土砂

小規模(標準以外)

1

m3 当り

機械構成比: 24.57% 労務構成比:

67.61%

材料構成比: 7.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,534.7000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	24.57%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	67.61%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=5 小規模(標準以外)		

# 施工単価表

整地  
敷均し(ルーズ)

SPK19040003

単第 0 -0004号表

狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)

1

m3 当り

機械構成比: 20.65%

労務構成比:

72.94%

材料構成比:

6.41%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

306.2900

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ブルドーザ 普通・排1 3t級(3~4t)	20.65%		ブルドーザ 普通・排1 3t級(3~4t)		MTPC00001 MTPT00001
運転手(特殊)	53.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	19.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.41%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 敷均し(ルーズ)			B=3 狭小幅員(幅2.5m以上4m未満)		

# 施工単価表

ため池工事締固（振動ローラ）  
 ハンドガイド式 0.8~1.1t級

仕上厚0.22m 締固め4回

単第 0 -0005号表

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.8~1.1t	1.38	供用日			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.85	L			1.2*4.875
特殊作業員	1.00	人			
諸雑費	1	式			
1 m3当り		m3			
**単位当り**	1	m3			
A=3 C=0.22 E=900	ハンドガイド式 0.8~1.1t級 仕上り厚さ (m) 締め固速度 (m/h)		B=4 D=0.4	締固め回数 (回) 作業効率	

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK19040002

単第 0 -0006号表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離60.0km以下(28.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.75% 労務構成比:

69.90%

材料構成比: 9.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

12,170.0000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.75%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	69.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.35%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=72 距離60.0km以下(28.5km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		



# 施工単価表

機械投入(バックホウ)

SPK19040007

単第 0 -0008号表

土砂

小規模(標準以外)

1

m3 当り

機械構成比: 24.57% 労務構成比:

67.61%

材料構成比: 7.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,534.7000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	24.57%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	67.61%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=5 小規模(標準以外)		



# 施工単価表

法面整形

SPK19040030

単第 0 -0010号表

盛土部 法面締固め無し 現場制約無し

レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

1

m2 当り

機械構成比: 14.45% 労務構成比:

73.07% 材料構成比: 12.48%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

372.5900

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	14.45%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	32.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	27.53%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	12.99%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.48%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 全ての費用			B=2 法面締固め無し D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		



# 施工単価表

土砂等運搬

SPK19040002

単第 0 -0011号表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離9.0km以下(7.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.75% 労務構成比:

69.90% 材料構成比: 9.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,056.5000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.75%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	69.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.35%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=39 距離9.0km以下(7.0km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		









# 施工単価表

砂利舗装工  
敷均し幅2.5m以上

単第 0 -0016号表

100 m2 当り

バックホウ敷均し 敷均し

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.22	人			
普通作業員	0.69	人			
再生クラッシャー 40~0mm	11.50	m3			
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3 (平積0.2m3) 排出ガス対策型2次基準	1.90	時間			単第 0-0017号表
諸雑費	1	式			
***合計***	100	m2			
**単位当り**	1	m2			
A=3 敷均し幅2.5m以上 C=1 敷均し E=3 再生クラッシャー RC - 40 G=2 舗設材単価0円区分：なし I=1 小型車割増なし			B=3 バックホウ敷均し D=1 舗装面仕上げ無し F=10 敷砂利仕上がり厚さ(cm) H=0 敷材単価(円)(G = 2の時)		



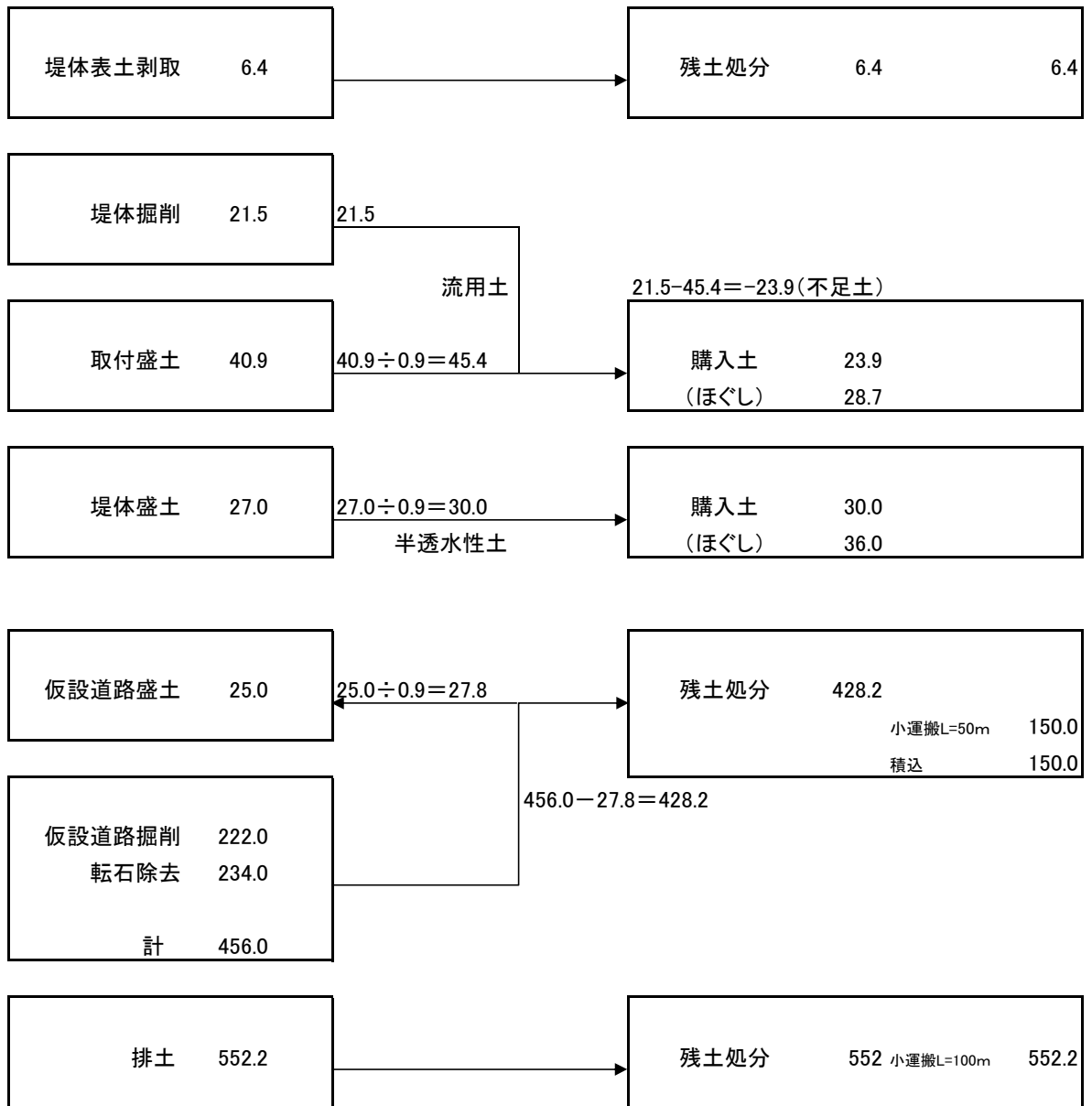




## 5132/204 大西大池(ため池) 数量総括表

工種	種別	細別	規格	過程数値	計上数値	単位	備考
堤体工							
土工	掘削工						
	堤体表土剥取	表土	BH0.13m3	6.4	6	m <sup>3</sup>	
	堤体掘削	土砂	BH0.13m3	21.5	22	m <sup>3</sup>	
	盛土工						
	堤体盛土	砂質土	機械併用	27.0	27	m <sup>3</sup>	
	取付盛土	砂質土		40.9	41	m <sup>3</sup>	
	購入土	ほぐし	半透水性土	36.0	36	m <sup>3</sup>	堤体部
	購入土	ほぐし		28.7	29	m <sup>3</sup>	取付部
	法面整形工						
	法面整形(堤体部)	盛土部		43.8	44	m <sup>2</sup>	
	法面整形(取付部)	盛土部		47.2	47	m <sup>2</sup>	
	残土処理工						
	土砂運搬工		DT2t	6.4	6	m <sup>3</sup>	
	残土処理			6.4	6	m <sup>3</sup>	
法面工	張芝工						
	人工張芝	堤体部		24.8	25	m <sup>2</sup>	
		取付部		47.2	47	m <sup>2</sup>	
排土							
排土	掘削工						
	排土掘削	排土	BH0.13m3	552.2	552	m <sup>3</sup>	
	残土処理工						
	機械小運搬	排土	L=100m	552.2	552	m <sup>3</sup>	
	機械積込		BH0.13m3	552.2	552	m <sup>3</sup>	
	土砂運搬工		DT2t	552.2	552	m <sup>3</sup>	
	残土処理			552.2	552	m <sup>3</sup>	
仮設道路工							
土工	掘削工						
	掘削	土砂	BH0.13m3	222.0	222	m <sup>3</sup>	
	掘削(積込)	転石除去	BH0.13m3	234.0	234	m <sup>3</sup>	
	盛土工						
	盛土工	流用土		25.0	25	m <sup>3</sup>	
	残土処理工						
	機械小運搬	土砂	L=50m	150.0	150	m <sup>3</sup>	
	機械積込		BH0.13m3	150.0	150	m <sup>3</sup>	
	土砂運搬工		DT2t	428.2	428	m <sup>3</sup>	
	残土処理			428.2	428	m <sup>3</sup>	
砂利敷工							
	砂利敷工						
	砂利舗装工	t=10cm	RC-40 W≥2.5m	2800.0	2800	m <sup>2</sup>	
	砂利舗装工	t=10cm	RC-40 W<2.0m	150.0	150	m <sup>2</sup>	
	碎石小運搬工	碎石	L=50m	15.0	15	m <sup>3</sup>	
	積込		BH0.13m3	15.0	15	m <sup>3</sup>	

# 土量配分表











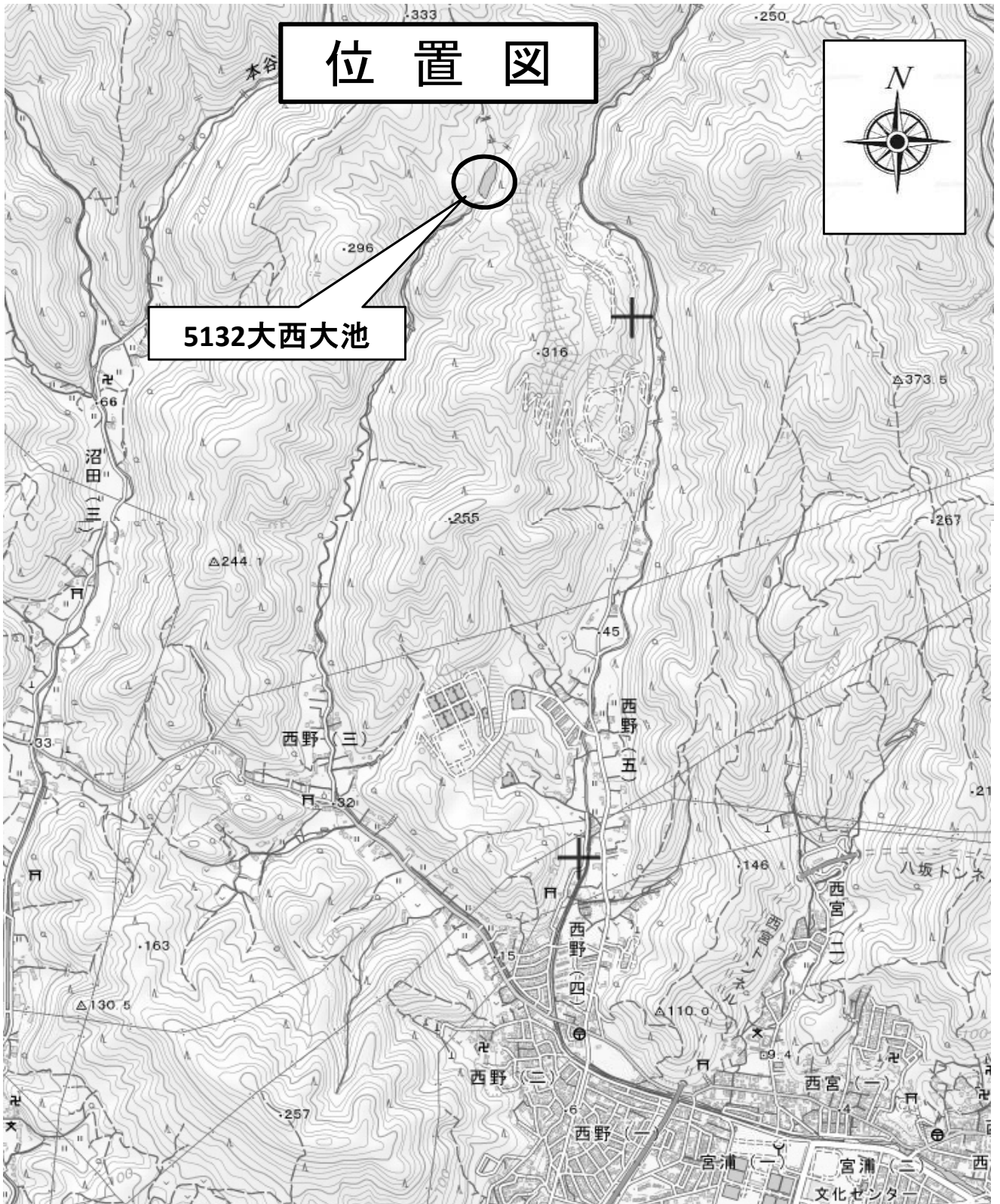












この地図は国土地理院地図を使用している。

緯度  
34.42806046

経度  
133.057151